



亀渕友香

「BIG MAMA YUKA」と呼ばれる日本の
ゴスペルシンガーの第一人者、ヴォイストレーナー。

1944年北海道札幌生まれ、東京育ち。小学校の時、マヘリア・ジャクソン出演映画『真夏の夜のジャズ』を観て、彼女の歌声に衝撃を受け涙を流す。東京音楽音楽専門学校(現・昭和音大)オペラ科を卒業。バーバラ・コブに専門ゴスペルを、ウィリアム・バックンハイムに発声学、カーマイン・カルーンにジャズ理論及び演奏形態を学ぶ。ヴォイストレーナーとして久保田利伸、倅田来未、SPEED、MISIA、露崎春女(Lyrico)、Max、和田アキ子他、数多くのミュージシャンや俳優、声優を指導する。

BIG MAMA

鬼武みゆき

コンポーザー・ピアニスト

東京理科大学理学部数学科卒業。6枚のオリジナルアルバムを発表。加藤登紀子、手嶌葵、桑江知子など、数多くのレコーディング、コンサートにアレンジや演奏で参加。2011年、ブラジリアン・シンガー、グラストン・ガリツァとのコラボレーションアルバムを発売、マドリッドと日本でツアー敢行。小栗康平監督映画「埋もれ木」の挿入歌作曲、マレーシア・ナショナル・シンフォニー・オーケストラのオーケストレーション、東京理科大学のオリジナル楽曲「未来への約束」作曲と、益々コンポーザー、アレンジャーとしての真価を発揮している。ジャーナリスト・鳥越俊太郎、写真家・森日出夫、アニメーター・伊藤有幸など、様々な分野とのコラボレーションも積極的に行い、ジャンルを越え幅広く活動中。岸恵子や柳生博など各界著名人をゲストに迎え、2012年より全36作品インターネット配信したショートムービーシリーズ「1 minute piece "Happiness is ... "」は、国内外で話題を呼んでいる。現代を生きる私達に元気と安らぎを与えてくれるアーティスト。 www.onitake.com



VOJA-tension

メンバー 増村エミコ、開発千恵、朝日美貴、高木美奈子、徳永さちこ、榊原暁、藤田尚之
★7名中4名が出演になります。

亀渕友香&The Voices of Japan(VOJA)から生まれた7名によるボーカルユニット。ゴスペルはもちろんのこと、さまざまな楽曲を固定観念にとらわれないボーカルワークで表現する。2015年7月に1stシングル「Hello Hello」をリリース。九州ゴスペルフェスティバル2015 in 博多のイメージソングとしてタイアップ。2016年11月にアルバム「WONDERLAND」をキングレコードよりリリース。メジャーデビュー。ラジオやTV出演、全国でライブやイベントに出演する等、精力的に活動中。

山口きずな音楽祭

室町時代、「西の京」として栄華を誇る山口へ宣教師フランシスコ＝サビエルが来山。当主大内義隆は、サビエルの布教の願いを受け入れ、1552年12月9日、山口の地で降誕祭が行われました。これが日本で初めてクリスマスが祝われた日と記録されています。応仁の乱以降、京都が荒廃する中で、大内氏は、雪舟をはじめ多くの文化人を庇護し、当時の日本文化の伝統を引き継ぎ、新たな文化を創造する役割を果たしました。「山口きずな音楽祭」は、その歴史に学び、きずなを尊ぶ寛容なところを、音楽を通じて伝えることを目的とし、今年で8年目を迎えます。

